

「若狭湾クラフトマルシェ」

1. 参加者

募集人数	応募者数	参加決定数	参加者数
300	389	329	382人（日帰り53人含む）

2. 事業内容（概要）

◆ねらい

- ・親子を対象とし、クラフト活動、遊びリンピック活動等を通して、健康増進と親子関係の向上をはかる。
- ・日常生活に体験活動を取り入れられるきっかけづくりとする。
- ・若狭地域の団体をはじめ、各団体同士が連携するきっかけづくりとする。

◆期日・期間

平成29年12月9日（土）～ 12月10日（日）〈1泊2日〉

◆連携機関 なし

◆参加者分析

募集案内は、昨年度配布した福井県嶺南地区や近隣の京都府舞鶴市内だけでなく、滋賀県高島市内の全児童へも配布した。その結果、募集人数を大幅に超える応募があり抽選により参加者を決定することとなった。

応募者の都道府県別割合は、福井県36.8%、京都府40.6%、滋賀県16.4%、その他6.2%であり、昨年に比べ滋賀県が6%以上高くなった。また、愛知、岐阜、三重、大阪からも応募があった。

	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
12月9日（土）		受付	オリエンテーション オープニング	クラフトブース①			夕食・入浴	遊びリンピック			自由	就寝
	6	7	8	9	10	11	12	13	14			
12月10日（日）	起床	遊びリンピック表彰式 朝のつどい	朝食	食事ブース			クラフトブース②			終了		

◆企画のポイント

2年目の事業である。昨年度のアンケート結果を受け、オープニングを短時間にしてクラフトの体験時間を多くとり、嶺南地域で活動されている公共施設、団体などの協力を得て、数多くのクラフトを体験してもらえるようにした。

◆運営のポイント

オープニングの「よさこい踊り」は、出演者と参加者が一体となって楽しめるような演出を依頼した。

クラフトブースの出展で、参加者が2日間を通して楽しめるように、出展日や出展内容、会場配置の調整を行った。

手作りのピザ窯を使ったピザ作りなどを通して、食への関心も持ってもらえるようにした。

3. アンケート結果

(1) アンケート

<参加者>

項目	4	3	2	1
事業全体をとおしてどうでしたか	74%	26%	0%	0%
この事業の運営はどうでしたか	64%	36%	0%	0%

4 満足 3 やや満足 2 やや不満 1 不満

(2) 参加者の声

- いろいろな体験や若狭の文化にも触れることができ親子で楽しめた。
- すべて回ることができなかったがどれも楽しかった。
- スタッフも親切だし、雰囲気作りなど工夫していると感じた。
- 子どもとたくさん触れ合える時間が持ててよかった。
- どのブースも子どもが満足いくまでゆっくり時間をかけて体験することができて良かった。
- 人気のブースはすぐに定員オーバーになってしまい参加できず残念。
- もう少しブースがあると良いと思った。
- 数に限定があるものは先に教えてほしかった。

4. 成果と課題

(1) 成果

- クラフトブースは満足度が高かった。親子で楽しんでいる様子を見られた。
- 出展者同士も交流ができた。今後の新たな展開のきっかけづくりができた。
- 遊びリンピックでは親子の交流がたくさんできた。体験活動の普及の一助となった。
- 食べ物ブースでは若狭のなれずしを食し、ピザ作りを体験する機会が提供できた。
- 参加者は福井県だけでなく、近隣の舞鶴市や高島市からも多いことが改めて分かった。今後も情報提供を積極的に行い、参加者の確保に努めたい。

(2) 課題

- 宿泊者の中にはリピーターも多く、宿泊説明は不要だという声もあった。宿泊経験者への説明をどの程度行うか検討が必要である。
- ブースによって待ち時間が長くなったものや、材料が早くなくなり体験できないものがあった。出展団体との事前交渉で、人数（内容）や時間配分の交渉が必要だと感じた。

5. 活動の様子

